大東亞戰爭一周年を迎える私の決意[[1]](#footnote-1)

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　作家　香山光郎

　大東亞戰爭二年目と言つても、昨年と別に變つたことを申上げることはないのですが、昨年の十二月八日、私は何事でもよい、呼ばれゝば何でも自分の力の及ぶかぎりお務め申上げやうと決心致したのであります。講演に行けと言はれゝば行きましたし、書けと言はれゝば書きました。今年も一層さういふことに努力して御奉公申上げやうといふ考へであります。十二月八日になると、また變つた考へも浮かぶか知れませんが、今はたゞ昨年の決意を新たにするといふことを考へます。たゞ素晴らしい、皇軍の戰果のやうな、シンガポールの陥落と言つたやうな素晴らしい作品を書きたいのですけれども、それが出來ませんで・・・、それが出來れば一番いゝ御奉公と思ふのですけれども・・・。

1. 『國民文學』1942年12月号 [↑](#footnote-ref-1)